

令和4年度普及活動外部評価会
普及事業の評価結果及び改善方向に関する助言・提言
(全体をとおして)

1 普及指導活動の体制（課内の分担・活動の進ちょく管理・普及指導員の資質向上の取組）

- ・毎月、チーム会等を開催し、進捗管理ができています
- ・コミュニケーション能力を高めるため新任者にトレーナーをつけるなど、教育やサポートの充実が感じられた
- ・普及職員はデータ処理、デジタル化に至るまで勉強することが多い。これらを農家に伝える役割を担っており、大変だがこれからもがんばって欲しい

2 普及指導活動の計画（普及課題の設定・対象の設定・関係機関との連携・目標設定）

- ・今後の普及への要望として、外国人を含めた雇用対策、後継者対策がある。また、新規就農者に対しては、土地やハウスのバックアップや、初期投資が大きいので経営指導をしてもらいたい
- ・県外からの就農者は孤独感がある。メンタル面を支えられるよう同じ境遇の人たちをマッチングする仕組みを作って欲しい
- ・普及指導員、JA営農指導員が協力して農業を支えていると改めて感じた。様々な機関との連携が大切なので、農業以外の分野や企業とも連携し高知県農業の課題を解決して欲しい
- ・私が携わり始めた4年前より発表の内容、目標、課題設定など、よく分析できている。デジタル化やデータを取る時は、目的が大切。目的が決まればデータ取りする場所、期間、項目が決まるので、データの活用方法などを普及指導員が仮説も立てて取り組んで欲しい。
- ・以前の取組は収量に関することが多かったが、関係機関との連携、課題を共有して多様な視点で取り組んでいると感じた。

3 普及指導活動の成果（活動の経過・実績・成果・結果の周知）

- ・農家と対面で話し合い築いた信頼関係、JA営農指導員との連携ができていたからこそ成果が上がったと思う。担当が変わっても引き継がれるようにして欲しい
- ・今後も農家が安心して営農できるよう新しい技術を広めて頂きたい。農業士にも目を向け取組を共有してもらいたい
- ・地域の課題に取り組んでおり、JAとしても心強く思う。今後もI o P、データ駆動型農業にも営農指導員とともに取り組んで頂きたい

4 その他

- ・今回は現地調査もできて、普及職員の苦勞がよくわかった。3カ所で様々な品目を見ることができ参考になったが、例えばショウガで2カ所、病害のあるほ場とないほ場を見れば違いがわかり、より理解がすすむのではないかな
- ・各振興センターとも、活動や発表の内容が良くなってきた
- ・資材や肥料の高騰による問題もあるが、関係機関と連携して乗りきっていただきたい
- ・農業担い手育成センターでは最先端技術を研修するが、地元では栽培を基本から学ぶようになるなど、現場とのギャップが大きくなっている